**転出入アンケート調査**

創生本部　資料5

１．調査の概要

(1) 調査対象及び調査方法

□調査対象・調査時期

　　平成26年8月1日～1月31日の間に市民生活課窓口で住民票の異動手続きをした、転出453件、転入361件。

□調査方法

　　窓口配布、郵送回収

□配布先

　　市役所本庁

(2) アンケート調査項目

　今回の2調査は対象によって設問や選択肢の違いがあるが、概ね次のような設問項目とした。

|  |  |
| --- | --- |
| 転　出　者（18項目） | 転　入　者（6項目） |
| 1　回答者・世帯のプロフィール　家族構成、年齢、職業、転出後の住所、市内居住年数 | 1　回答者・世帯のプロフィール　家族構成、年齢、職業、転入前の住所 |
| 2　転出の理由等　最大のきっかけ、現在の地域を選んだ理由 | 2　転入の理由　最大のきっかけ |
| 3　転出前後の住宅事情　転出前後の住宅所有関係、補助制度など | 3　岡谷市について　今後のまちづくりへの期待 |
| 4　岡谷市について　満足度、岡谷市への回帰意向、今後のまちづくりへの期待 |  |

(3) アンケート回収状況

　配布・回収の状況は下表のとおりである。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　表　手続・回収状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 異動手続件数 | 回収数 | 回収率 |
| 転出者アンケート | 453 | 181 | 39.9％ |
| 転入者アンケート | 361 | 148 | 40.9％ |

(4) 調査結果の留意点

　① 百分率は小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで表記しました。

このため、合計が100にならない場合があります。

② 複数回答の場合、百分率の合計は100を超えます。

２．調査結果の分析

(1) 回答者・世帯の属性

　① 家族・世帯主の年齢構成

　　**●転出・転入ともに単身世帯が多く、20代と30代が中心**

　　世代別年齢にみると、「単身世帯」の転出は20代が最も多く42％であるが、転入は30代の33％であり、転出より若干年齢層が高くなっている。「夫婦世帯」の転出入は20代・30代であり、「二世代世帯」の転出は30代が最も多くなっている。



　② 世帯主の職業　　**●転出・転入ともに会社員が最も多い。**

　③ 転出・転入地域、居住年数（転出）

　　**●県内及び近隣市町村への転出、諏訪市、下諏訪町からの転入が多いほか、関東圏への転出も多い**

　　転出では、県内や諏訪市などの近隣市町村が多いほか、首都圏及び東海圏への異動が多い。転入についても同様の傾向にあるが、諏訪近隣が多い。

　　岡谷市での居住年数を世帯別でみると、「５年未満」が単身世帯では33％、夫婦世帯では47％、二世代世帯では55％を占め、短年での異動が特徴的である。全体では39％である。



(2) 転居の理由等

　① 転居の最大のきっかけ

　　**●転出・転入とも「仕事の都合（就職・転職・転勤・退職）」が最も多い**

　　転居の最大のきっかけは、転出・転入とも「仕事の都合」に関することが最も多く、それぞれ約５割をしめており、次いで転出は「家庭の都合」、転入は「結婚」となっている。

　②転居の最大のきっかけのうち近隣市町村

　　●**近隣市町村へ岡谷市から転出する最大のきっかけは、「家庭の都合」による理由が最も多く、次いで「仕事の都合」による理由が続いている**



　　**●近隣市町村から岡谷市へ転入してくる最大のきっかけは、「結婚」による理由が最も多く、次いで「住宅の都合」による理由が続いている**



　② 岡谷市へのこだわり

　　**●約１割が岡谷市内も探したが結果的に転出**

　　11.6％の多くが諏訪近隣に転出しており、主な転出の重視条件が「土地や住宅の価格、家賃」や「日常の便利さ」であり、新築持家の購入や民間の借家へ結果的に転出してしまっている。

③ 転出先への重視条件

　**●最も多いのは「通勤・通学の便利さ」は30％「土地や住宅の価格、家賃」で27％、で２番目に多い**

(3) 転出前後の住宅事情

　①転出者における住宅事情

　　岡谷市から転出前の住宅の状況が、持家（１戸建）及び民間の借家と回答した方について、転出後の住宅事情は、転出前「持家」の方は「民間の借家」が47％で最も多く、次いで「中古持家」16％となっている。一方、転出前「民間の借家」の方は「民間の借家」が60％であり、次いで「親と同居」、「新築持家」が続いている。

　　「新築持家（１戸建）」「中古持家（１戸建）」「持家（マンション）」と回答した方を対象（35件）

　　他市町村に土地・住宅を取得した「新築持家：１９件」、「中古持家：１１件」、「マンション：５件」岡谷市で土地・住宅を購入しなかった理由について

「土地・住宅の価格が高かった」：５件

「適当な形状や広さの土地が見つからなかった」：１件

「親や子ども、その他親族などが現在地に住んでいた」：６件

「親から譲り受けた」：８件

「勤務地が現在地にあった」：１件

「周囲の環境」：２件　　「その他」：１２件

「土地・住宅の価格が高かった」が５件については、住宅の融資制度や補助制度があれば、岡谷市内での住宅の建設又は購入を検討していたとしている。

　　近隣市町村へ転出した者のうち「民間借家（１戸建）」「民間借家（アパート、マンション）」と回答した方を対象

　「勤務先・通学先が現在地にあった」が最も多く60％であり、次いで「住宅関係（家賃・間取り）」が20％である。



(4) 岡谷市について

　① 岡谷市の住み心地

　　**●暮らしやすさは「静かな居住環境」「職場、学校が近い」が高く、暮らしにくさは「道路など都市基盤の整備」「雇用の場が少ない」「買物など日常生活が不便」**

　　岡谷市に住んでいて暮らしやすい点として「静かな居住環境」「職場、学校が近い」が40％で最も高く、「知り合い」が続いている。一方、暮らしにくい点として「道路などの都市基盤が整備されていない」28％で最も高く、「雇用の場が少ない」「買物など日常生活が不便」が、次いでが25％と続いている。

＜転出者アンケート＞

② 満足度・回帰意向

　② 満足度・回帰意向

　　**●転出では約７割が市内居住に満足、回帰意向は約４割**

　　転出の約７割が岡谷市内での生活に満足しており、今後の回帰意向では、全体の約３割が「帰りたい」あるいは「改善されれば帰りたい」と回答している。

|  |
| --- |
| 「改善されれば帰りたい」条件・駅前を考えてほしい・土地と家賃が高く、土地を買うと家を建てる余裕がなくなる。（６市町村のなかでも）・雇用問題・道路整備、雇用の活性化 |

③ 今後の期待

　　●買い物など日常生活の利便性の向上が最も期待され、次いで、まちの安全性が続いている。

＜転入者アンケート＞

＜転出者アンケート：ご意見等＞

　・これからも美しく暮らしやすいまちでいてほしい

　・子育て環境は充実している

　・駅前を何とかしていただきたい

　・福祉の充実（特に内部障害（肢体不自由以外の体の内部の障害）に対する充実）

　・除雪対策

　・土地、家賃の値下げ

　・国道20号の歩道の改善

　・バスの利用促進

　・転入者向けの生活ガイドブックの作成

　・都市整備の充実（標識、道路が複雑、狭い）

　・夏のイベントのイメージだが、春、秋、冬は何もない

　・商店街のシャッター通り化しており、整備や環境改善を望む

　・ララオカヤについては、駅から観光、仕事などで訪れる方から、印象が悪くなるため、危機感を持って改めて欲しい

＜参考＞諏訪6市町村　世帯数及び人口　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　長野県毎月人口異動調査

＜参考＞諏訪6市町村　自然動態及び社会動態　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　長野県毎月人口異動調査

